

# 南芦屋浜（ビーチ護岸・南護岸）の高潮対策に係る工事説明会

日時：令和元年11月10日（日）

10:00～11:30

場所：潮芦屋交流センター

## 1 あいさつ

## 2 説明事項

（1）高潮対策計画について

（2）高潮対策工事の実施について

（3）高潮対策工事後のビーチ護岸・南護岸の管理について

## 3 質疑応答

## 4 閉会

(出席者名簿)

兵庫県		芦屋市	
所属・役職	氏名	所属・役職	氏名
阪神南県民センター尼崎港管理事務所・所長	木村 浩之	技 監	長田 二郎
阪神南県民センター尼崎港管理事務所・所長補佐 (高潮対策推進課・課長)	小崎 隆志	都市建設部・部長	辻 正彦
阪神南県民センター尼崎港管理事務所・高潮対策推進課・主査	江崎 賢一	都市建設部防災安全課・主幹	竿尾 博司

(配席図)

江崎  
主査

小崎  
所長補佐

木村  
所長

長田  
技監

辻  
部長

竿尾  
主幹

--	--	--	--

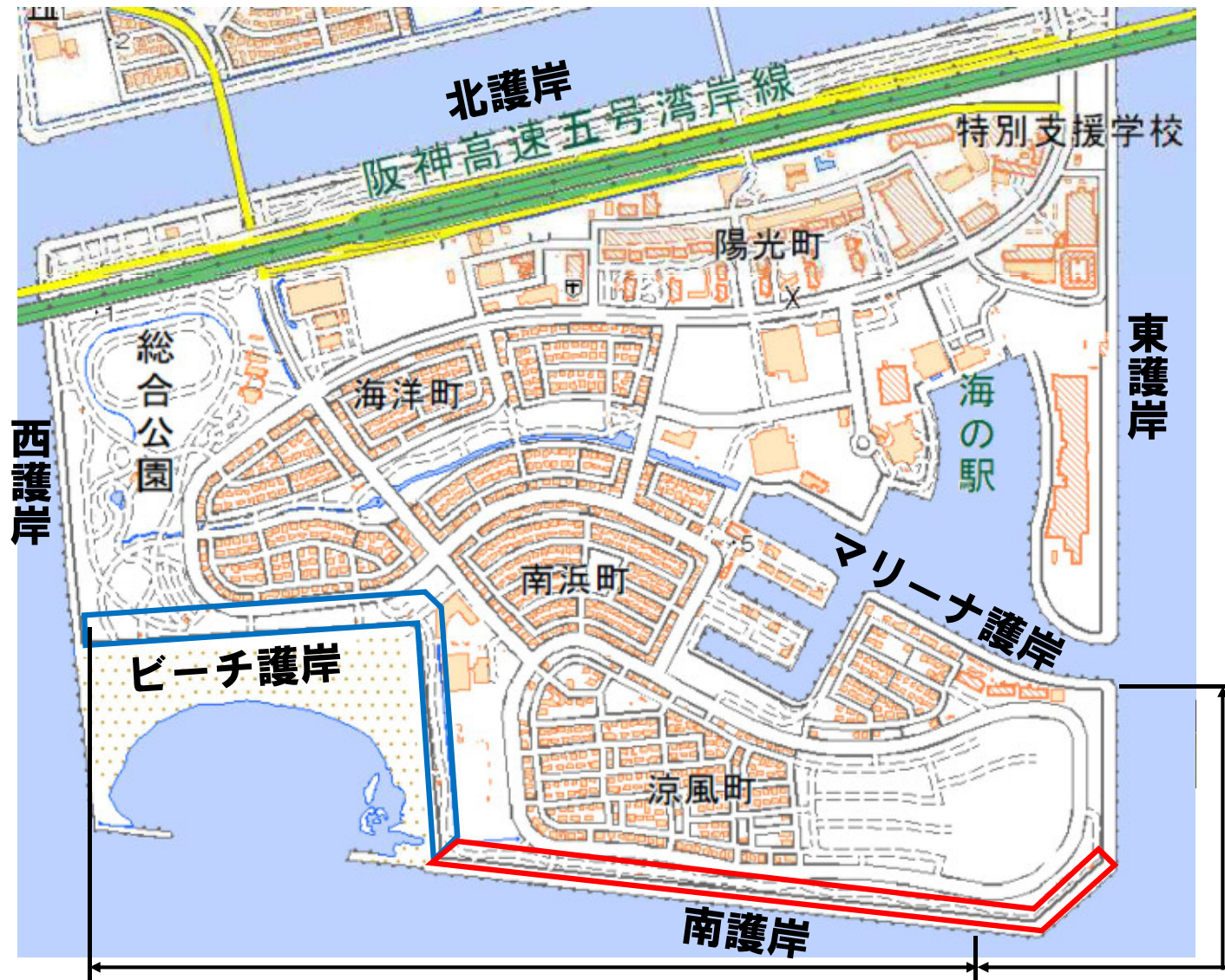
参 加 者 ( 住 民 )

# 1. 高潮対策計画について

# 1. 高潮対策計画について

## (1) 南芦屋浜の高潮対策計画

- 平成30年9月の台風第21号により越波の大きかったビーチ護岸と南護岸では、今秋から高潮対策工事に着手し、令和2年夏頃までに概ねの対策が完了できるように進めていきます。
- 東護岸、北護岸、西護岸、マリナー護岸についても、対策の検討を進め、引き続き、対策工事に着手していきます。



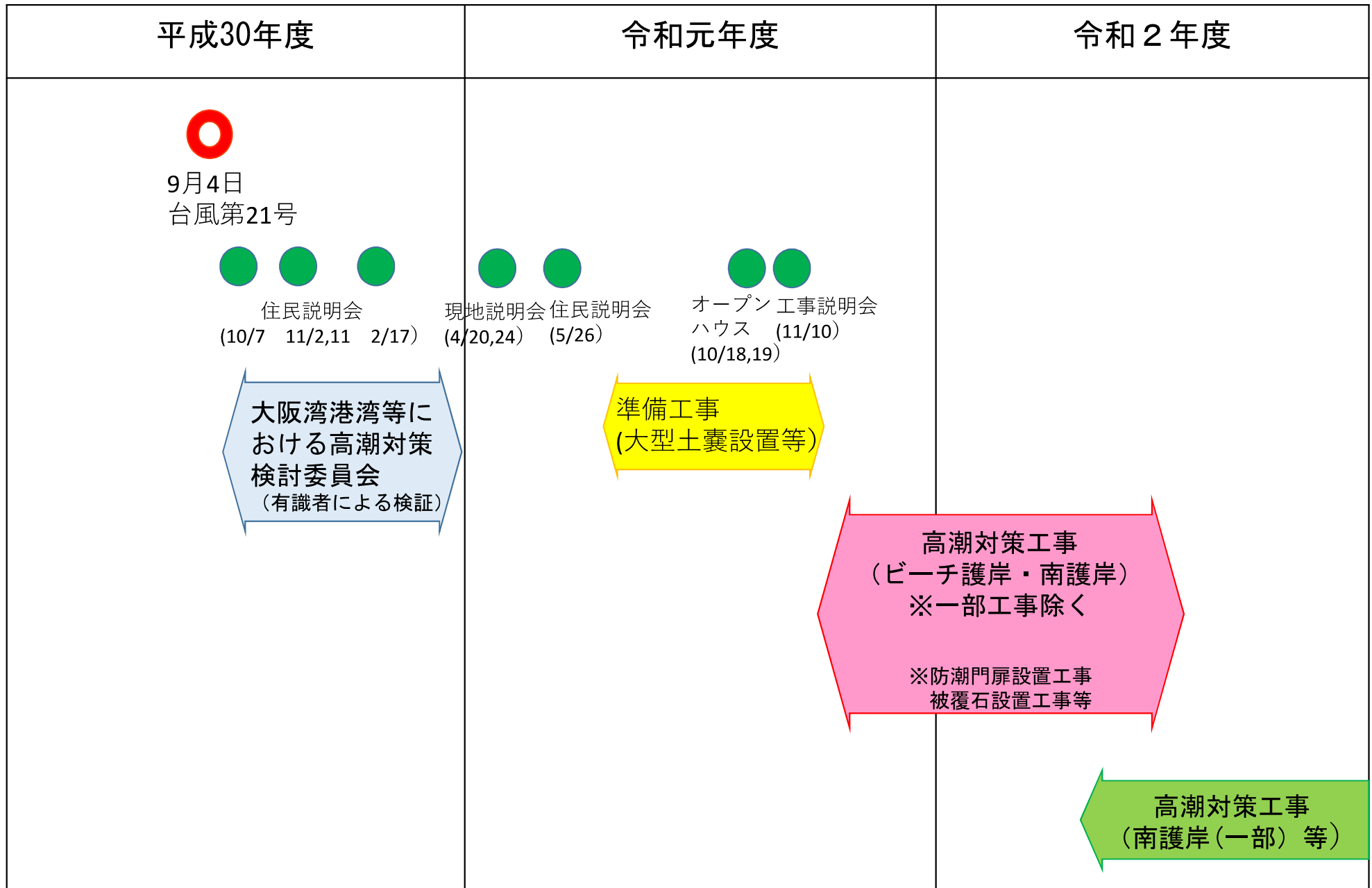
11月18日から工事着手（9工区） 約1.4km

《令和2年8月31日完成予定（一部工事除く）》

令和2年夏頃から工事着手 約0.6km

# 1. 高潮対策計画について

## (2) これまでの経緯と今後のスケジュール



# 1. 高潮対策計画について

## (3) ビーチ護岸、南護岸の高潮対策計画案 平面図

### 計画の考え方①

防潮堤を2段で設置（中壁、後壁）して平成30年台風第21号と同様の高潮・高波が満潮時に来襲しても、浸水被害を生じさせない対策を行います

### 計画の考え方②

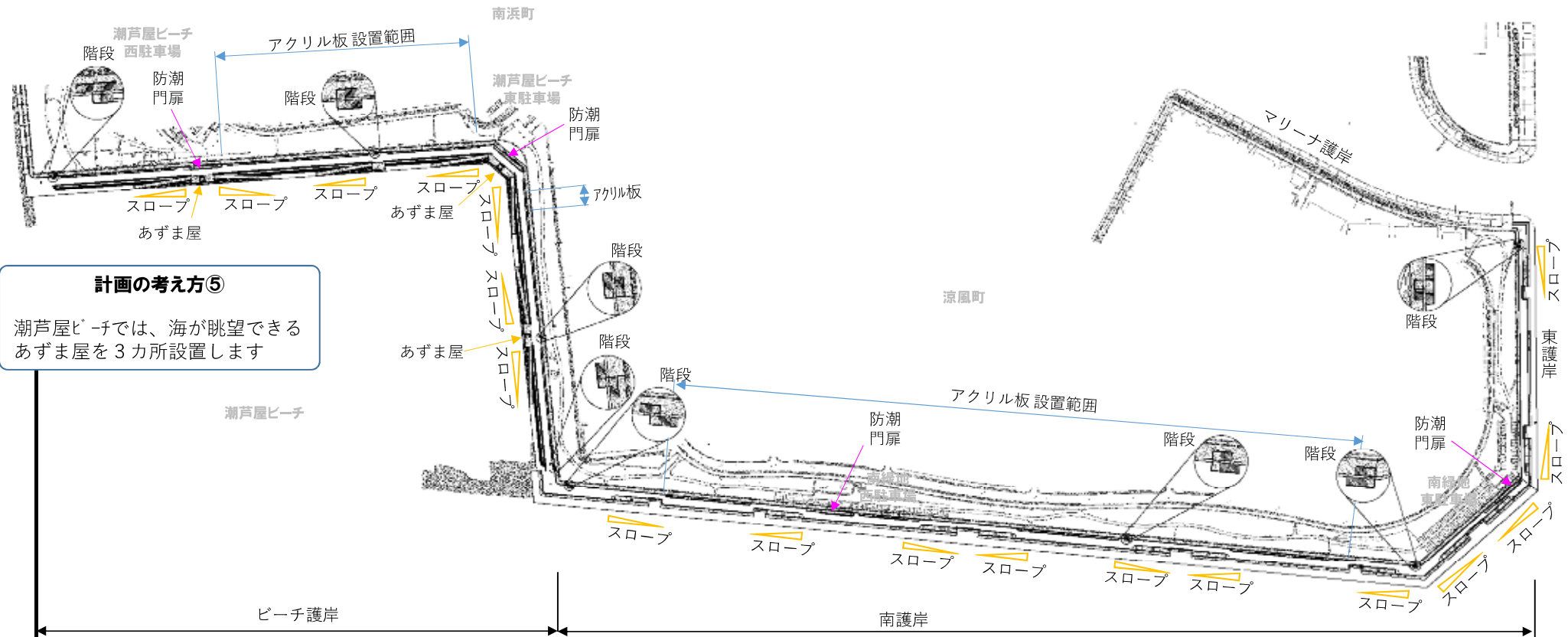
後壁の出入りは階段もしくは防潮門扉で行います  
中壁の出入りはスロープで行います

### 計画の考え方③

防潮堤の背後からの景観に配慮して、住宅地のある範囲において透明のアクリル板を設置します

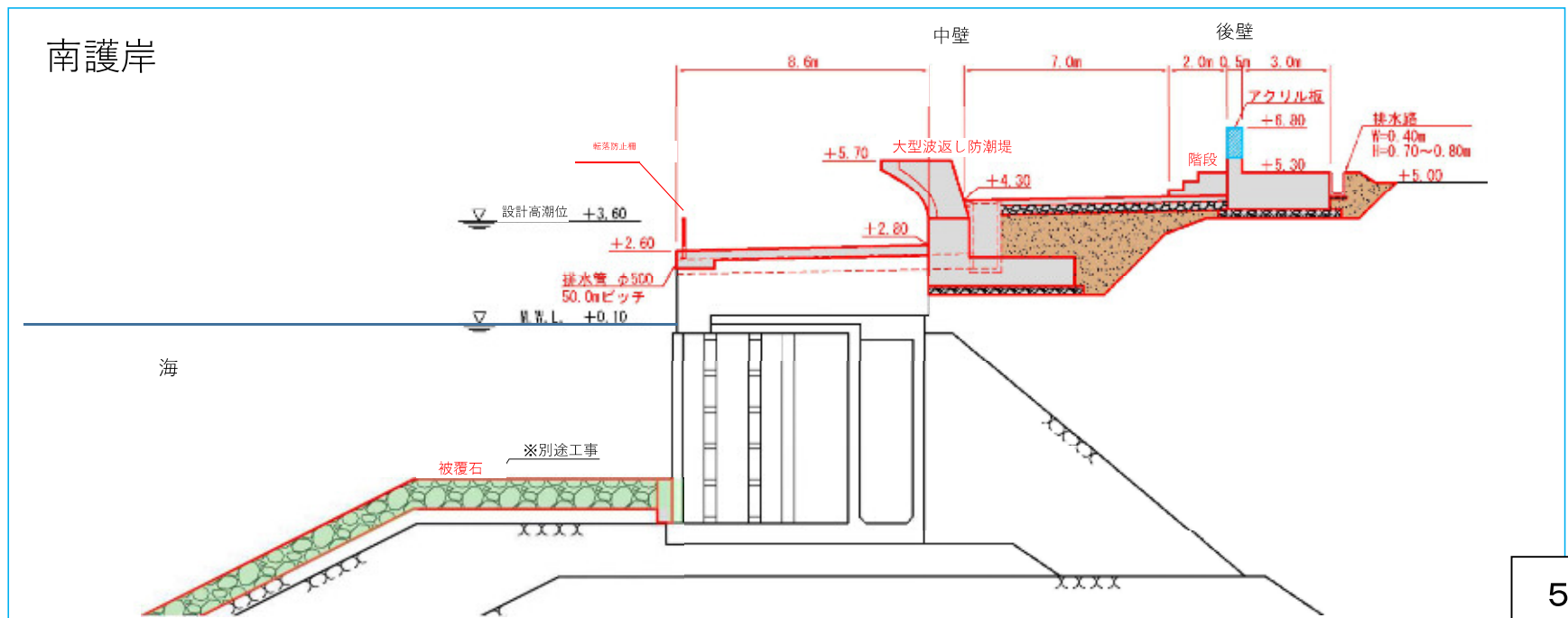
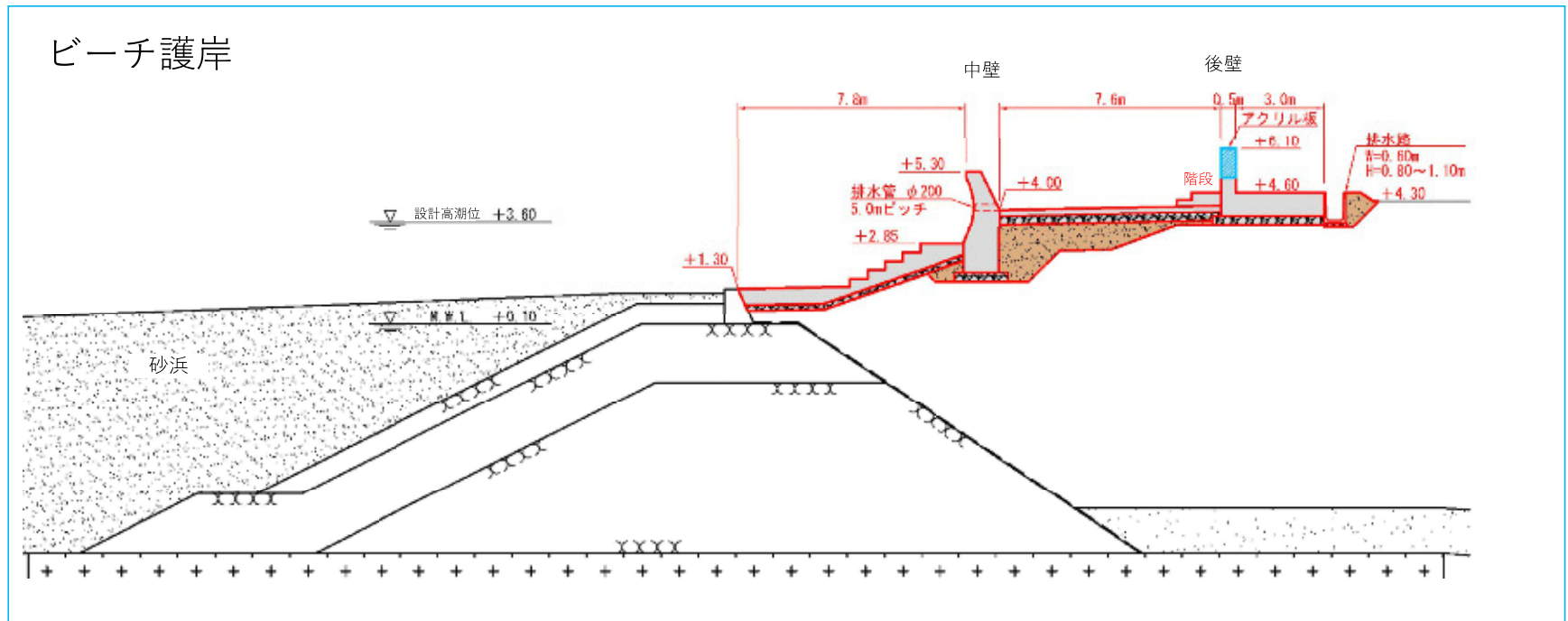
### 計画の考え方④

コンクリート製の防潮堤の圧迫感を軽減するため、防潮堤（後壁）の壁面や階段部には化粧型枠を用います



# 1. 高潮対策計画について

## (3) ビーチ護岸、南護岸の高潮対策計画案 標準断面図



# 1. 高潮対策計画について

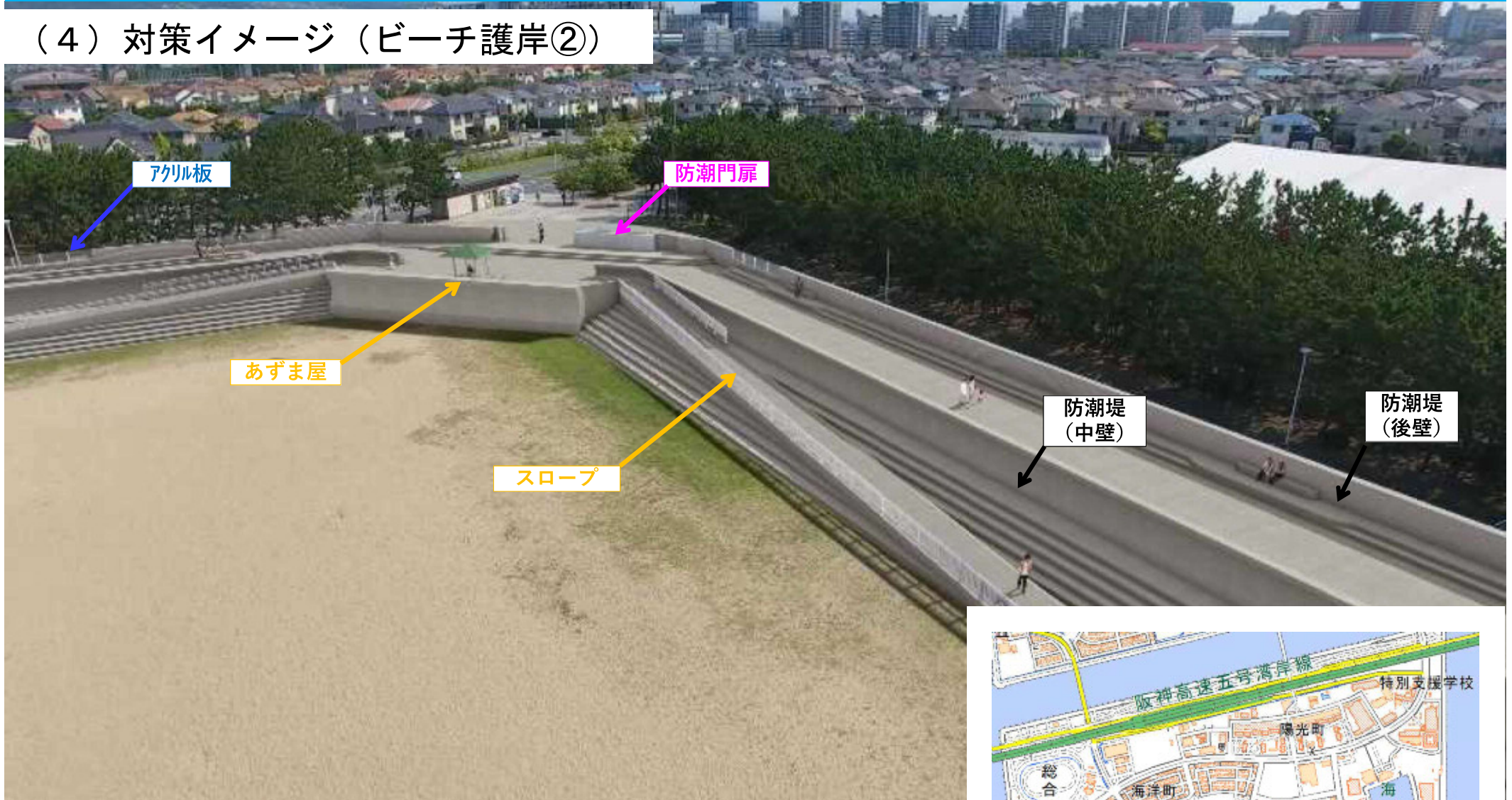
## (4) 対策イメージ (ビーチ護岸①)





# 1. 高潮対策計画について

## (4) 対策イメージ (ビーチ護岸②)



# 1. 高潮対策計画について

## (4) 対策イメージ (ビーチ護岸③)



# 1. 高潮対策計画について

## (4) 対策イメージ (南護岸①)



# 1. 高潮対策計画について

## (4) 対策イメージ (南護岸②)



# 1. 高潮対策計画について

## (5) アクリル板の配置

○アクリル板の配置について、オープンハウスでのアンケート結果等を踏まえて検討した結果、1案とします。

(決定理由)

- ・アクリル部が8m連続するため視界に広がりがあり、1km以上ある南護岸・ビーチ護岸の景観として望ましい
- ・アクリル高さは、背後の1階住居からの眺望や遊歩道からの子供の目線等に配慮すると1mが望ましい

1案

防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部8m×コンクリート部8m  
(アクリル板の高さ：1.0m)



南護岸背後の1階住居付近から見た眺望

3案

防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部4m×コンクリート部4m  
(アクリル板の高さ：1.0m)



南護岸背後の1階住居付近から見た眺望

2案

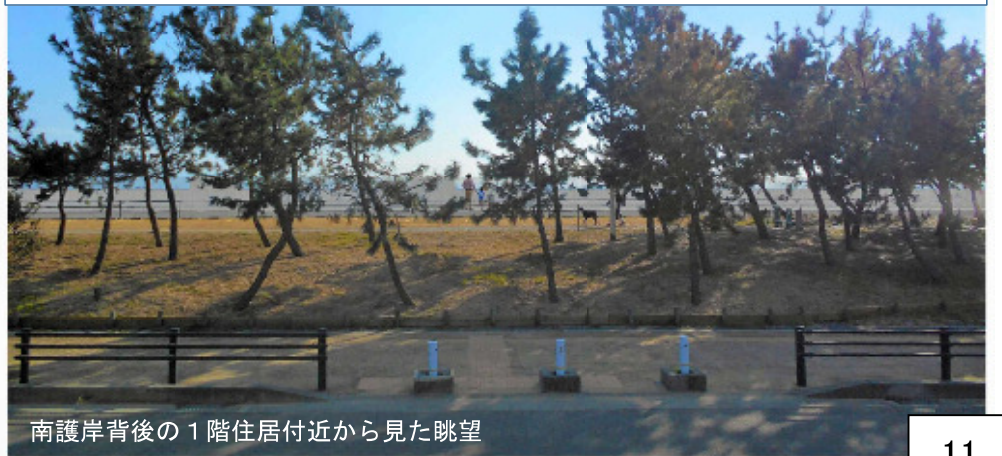
防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部6m×コンクリート部6m  
(アクリル板の高さ：1.0m)



南護岸背後の1階住居付近から見た眺望

4案

防潮堤（後壁）のピッチ割：アクリル部8m×コンクリート部2m  
(アクリル板の高さ：0.6m)



南護岸背後の1階住居付近から見た眺望

# 1. 高潮対策計画について

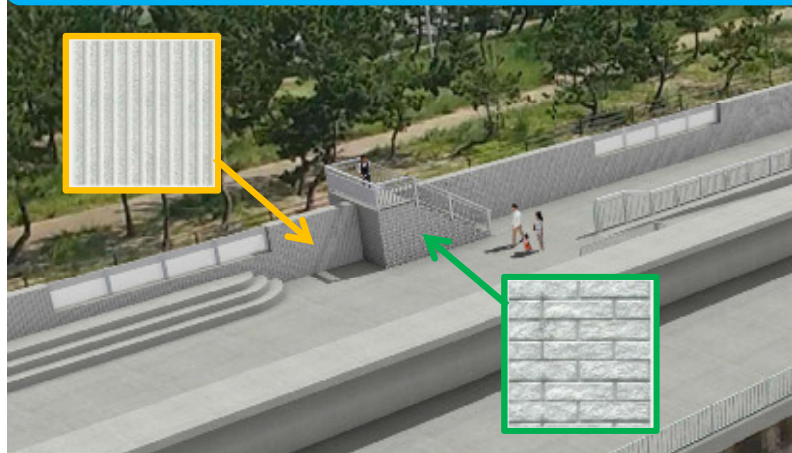
## (6) 化粧型枠（コンクリートの模様）

○防潮堤（後壁）及び階段部に使用する化粧型枠について、オープンハウスでのアンケート結果等を踏まえて検討した結果、1案とします。

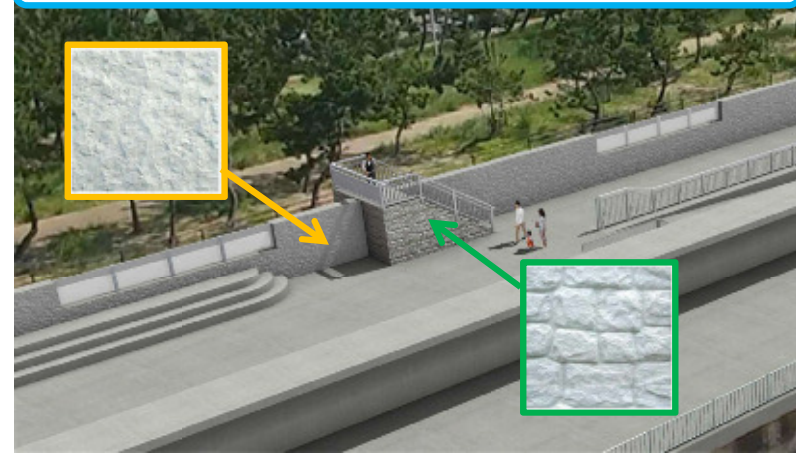
（決定理由）

- ・ リブ、レンガの直線的なデザインが南芦屋浜のモダンな雰囲気にあふさわしい
- ・ 海や松林の景観を邪魔しないシンプルなデザインで周辺景観との調和がとれる

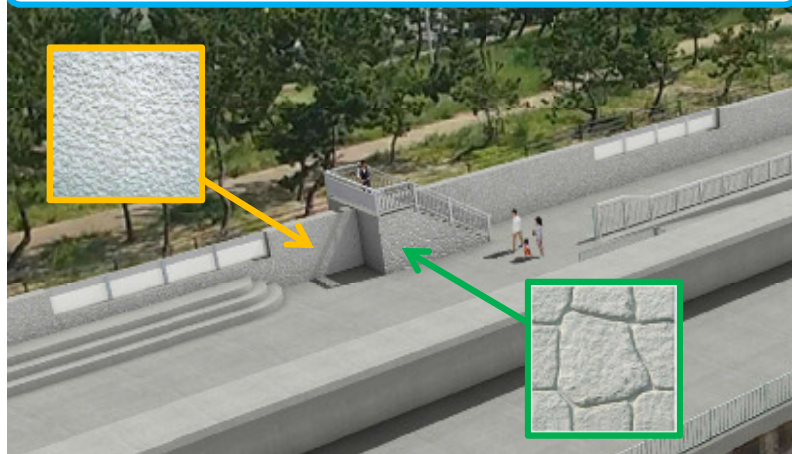
1案. リブ模様の防潮堤＋レンガ模様の階段



3案. 石割肌模様の防潮堤＋雑割石模様の階段



2案. はつり模様の防潮堤＋野面石模様の階段



リブ	はつり	いしわりはが 石割肌
レンガ 煉瓦	のづら 野面石	ざつわり 雑割石